

緑の絨毯が広がる 極上パノラマの特等席

パークコート神宮前

DATA 渋谷区神宮前／総戸数385戸（地上16階・地下3階建て）／分譲時売主：三井不動産レジデンシャル、東電不動産／管理：三井不動産レジデンシャルサービス／設計・施工・取材協力：三井不動産リフォーム

眺望の質向上のため 生活感を徹底排除

東京都心、京都、LA、NYと国内

外にハイグレードマンションを所有するNさんは「不動産で最も重要な付加価値は、眺望」が持論だ。「室内は自分好みにアップグレードできますが、眺めには手を加えられません。ですから各物件ともに上質な眺めが得られる

ことを優先して購入してきました」

そんなNさんがたどり着いた最適解がこの眺めだ。正面に明治神宮、左手には代々木公園の広大な緑地が広がる。「実はあえて最上階から2フロア下の住戸を選びました。最上階からの眺めも素晴らしいのですが、視点が高過ぎて箱庭のよう見えてしまふ懸念があります。その点、ここならソファに座った目線の延長線上に緑が見えますし、新宿・渋谷の高層ビル群、奥秩父から丹沢の山々、富士山まで望めるのです」

そして、この絶景のクオリティをさらに高めているのが、Nさんの多拠点スタイルだ。

「ここはプライベートオフィスとして活用し、私邸は同じマンション内の別棟に構えています。住んでしまうと生活感の出るモノを置かざるを得なくなったり、絶景の価値が損なわれてしまうからです」。新築で購入後、フルリノベーションで収納を豊富に機に付け、膨大な書類やオーディオ機器を格納。狙いどおり、室内は生活感ゼロの極めてシンプルな空間となった。

平日はここで仕事に集中し、ひと段落したところで、窓の外を眺めながら一杯飲むのが至福の時というNさん。「夜になると、灯のない代々木公園と明治神宮が黒い湖のような姿に変貌する。その周囲で隣くビルのイルミネーションとの組み合わせも絶景ですよ」



夜景も素晴らしい。中央の照明はNYのインテリアショップ、ホーリーハントで見つけたもの（画像提供：三井不動産リフォーム）

窓際の台座は特注した
大谷石のTVボード。眺
めを遮らないよう普段
はモニターを内蔵